

平成 28 年度 日本学生経営学会

夏季全国大会

日時	2016 年 9 月 3 日(土) 会場受付開始時刻 09 : 50 開演 10 : 30 終演 16 : 30 懇親会 18 : 00
場所	甲南大学岡本キャンパス(兵庫県神戸市東灘区岡本 8 - 9 - 1)
主催校	日本学生経営学会 甲南大学経営学研究会
参加大学	甲南大学・福岡大学・松山大学
後援	大阪商業大学総合経営学部教授・日本学生経営学会顧問

中津孝司教授

【目次】

目次	2
プログラム	3,4
顧問・理事長挨拶文	5,6
問題提起分	7,8
<午前の部>	
福岡大学(上松、小股、津田、藤木)『旅行代理店によるモノの活用法』	9,10
<午後の部>	
松山大学(大森、越智、株田、森實、山本) 『「モノの活用法」～紙国が世界を変える～』	11-14
甲南大学(松尾、山本)『最新技術と従来技術の革新の活用』	15,16
総会資料	17-23
日本学生経営学会の方針	
会計報告	
会計監査報告	
書記広報報告	
渉外報告	
研究報告	

平成 28 年度 日本学生経営学会夏季全国大会 プログラム

日 時 2016 年 9 月 3 日 09:50～
場 所 甲南大学岡本キャンパス 8 号館 813 教室(兵庫県神戸市東灘区岡本 8-9-1)
甲南大学 HP <http://www.konan-u.ac.jp/>
(交通アクセス、キャンパスマップなど参照)
大会テーマ 「現代に最も適当な経営資源とは」
顧 問 中津孝司(大阪商業大学総合経営学部教授)
参加(加盟)校 甲南大学・福岡大学・松山大学

大会プログラム

受付開始	09:50～
開場	10:15～
開演	10:30～10:45
開会式	
開会宣言	
諸注意	
午前の部 発表(※発表 15 分,質疑応答 25 分)	10:50～11:30
福岡大学	10:50～11:30
昼食休憩	11:30～12:30
午後の部 発表(※発表 15 分,質疑応答 25 分)	12:35～14:00
松山大学	12:35～13:15
甲南大学	13:20～14:00
アンケート記入	14:00～14:15

休憩	14:15～14:30
総会	14:30～
顧問 中津教授の講評	
日本学生経営学会の方針	
会計報告	
会計監査報告	
書記広報報告	
渉外報告	
研究報告	
結果発表・表彰	
閉会宣言	
懇親会	18:00～
月のほたる 三宮店	
2016 年 9 月 4 日(日)	
夏季全国大会反省会	10:00～12:00

ご挨拶

大阪商業大学総合経営学部教授
日本学生経営学会顧問
中津孝司教授

企業組織を取り巻く内外の環境は刻一刻と変化する。企業の組織能力とは環境変化に対する適応力だと断じて過言ではないだろう。適応力が欠如する企業は自然淘汰され、優れた適応力を備えた企業は生き残る。生き残るということは社会的ニーズが当該企業を必要だと診断しているからに他ならない。

企業組織の適応力を決定づける重要な要素は人間である。企業組織を構成する要員一人ひとりの力が結集されて初めて、企業は組織として機能する。経営資源で最重要要素はヒトである。ヒトを大切にすることは甘やかすことではない。鍛えることである。鍛えられた人材の能力が組織能力として結実していく。

この企業組織を率いるのはリーダーであるが、リーダーと役職とは関係がない。要員一人ひとりの能力を結晶体に昇華させる能力を備えた人物がリーダーである。動く組織とはリーダーの能力の行きつく。

誰もが良く知るシャープは台湾資本の軍門に下る一方、斜陽を危ぶまれたソニーは新たな得意分野を切り拓き、企業価値を高めてきている。三菱自動車やスズキが躓く一方で、トヨタ自動車、ホンダ、マツダの地位は不動である。この違いはどこから生じるのか。経営トップの経営判断だけではない。現場リーダーの能力が組織の存亡を大きく左右している。

足元では円高ドル安が日本企業の足枷となっている。その要因は日本の財政・金融政策のみならず、米国の金融政策、商品市況、グローバル経済の動向など揺れ動く国際関係にも求めることができる。英国の欧州連合(EU)離脱問題で大幅な円高が進行したことは記憶に新しい。国際テロに巻き込まれ、命を失った日本人も多数いる。

学生諸君には幅広い視野で地球全体を俯瞰できる能力を身につけてほしい。この姿勢が近未来を予測する能力へとつながっていく。先を見抜く力こそが経営判断を正しく導く。

今回の大会では甲南大学の皆様に大変お世話になった。また、日本学生経営学会理事会の学生諸君は真摯に大会向けに取り組んでくれた。福岡大学商学部の合力知工先生には常日頃から大変お世話になっている。この場をお借りして厚く御礼を申し上げる次第である。

平成 28 年度 9 月

ご挨拶

松山大学経営学研究部
日本学生経営学会 理事長
川田 広樹

日本学生経営学会理事長を務めさせて頂いております、松山大学の川田広樹と申します。このたびは、平成 28 年度日本学生経営学会夏季全国大会が無事開かれますことを心よりお喜び申し上げます。また、大会開催にあたり、新しく理事が発足して初めての大会ということもあり、三大学の理事メンバー、松山大学経営学研究部の皆様には大きなご協力を受け賜りました。この場をお借りいたしまして、感謝申し上げます。

今大会のテーマは、「モノの活用法」です。企業が持つ業界の強みを理解し、これからの日本を担っていく企業の組織力、判断力について、前回大会と同様に各大学のユーモアあふれる素晴らしい発表を期待しております。また、発表者以外の方々にも積極的に大会に参加して頂き、単なる傍観者にならぬよう、活発な意見交換をして頂けることを願っております。

平成 28 年度日本学生経営学会では、理事の役職を増やし、大会の充実を図ってきました。役職が増え、メンバーも増えたことで理事メンバーの団結力も深まりました。年間テーマといたしましては、引き続き、渉外活動の充実を年間方針に設定し、活動を行ってきました。加盟校の減少は大会を開催するうえで最大の課題であり、増加させることは、たやすいことではありません。現在も、県立長崎シーボルト大学をはじめ複数の大学とコンタクトを取っている最中であり、理事会としては新たな一歩を踏み出せたと感じております。

最後になりましたが、各大学の理事の方々や日本学生経営学会顧問の中津教授、そして、学会会員の皆様全員に感謝申し上げます。今回の夏季大会が素晴らしい大会になるよう、理事一同、全力を尽くして参りますのでよろしくお願い致します。

平成 28 年度 9 月

年間テーマ

「現代に最も適当な経営資源とは」

年間テーマ背景

本当に強い企業とは何だろうか。企業を経営する上で必要な四大要素である「ヒト・モノ・カネ・情報」が充実している企業であろう。では一つ一つの要素が充実している状態とはどのような状態なのか。企業経営とは常に時代に合わせ適当な姿に形を変えなければいけない。「モノ」で変化が顕著な分野といえば IT 分野であろう。スマホを例に出してみると、市場に登場したのは数年前であるのに、すでに市場が成熟間近といわれている。しかし、企業の強みとなるのは最新のテクノロジーだけではないはずだ。また、経営資源の中で最も重要だと考えられるのは「ヒト」であろう。経営資源の四大要素の中の「情報」で考えてみても納得できるのではないだろうか。例えば、表計算ソフトから、はじき出された数値は単なる「データ」にしか過ぎないが、ヒトが解釈をつけるとようやく単なるデータから経営資源として活用できる情報となる。「ヒト」とは単なる「労働力」ではない。誰が同じ作業をしても同じ効率で同じ結果が得られるということはないだろう。前述したが、企業経営を左右するのは、やはり四大要素である。今回はこれらへの提案をしていただきたい。

夏季大会テーマ「モノの活用法」

経営面において重要なことは自社が持つ強みを生かし、最大限活用していくことである。しかし、その自社の強みを正確に把握し、効果的に売り込むことで成功を収めている企業は珍しいのではないか？また企業の一部社員は把握しているが、社員全員が完璧に把握できている企業はごくわずかであろう。この考えに至ったきっかけとして、日本の文化があげられる。日本国民は素晴らしい技術・製品をどれだけ把握、理解しているのだろうか。企業と国家、一つの団体が持つ強みという観点で見ると、そこには、所属する人の差異しかないであろう。また、近年ではリメイク、魅力の再発見に成功し、再ヒットを遂げているものがいくつか見られる。その一つに日本の文化であるアニメの分野で、赤塚不二夫の作品である「おそ松くん」が再注目され、現在では「おそ松さん」というタイトルに名を変え放送されている。さらに、現代ではグッズ販売などでの売り上げもあげている。また COOL JAPAN として、日本古来の技術や文化が注目され、外国人にも人気に火をつけている日本の文化の中でも、まだ注目されておらず、十分に売り込むことのできるものがあ

るのではないか。各個人の地元でも眠っている魅力が何かないだろうか？今回の発表として、既存技術・アイデア・商品・文化といった業界の強みを再確認し、それについての利用方法を考えていただきたい。自分たち、もしくは自分が企業へ提案するならば、どのようにプレゼンするだろうか。さらに、その業界の分析をしていただき、問題をあぶり出し、しっかりとした計画を持った販売戦略をプレゼンしていただきたい。

旅行代理店によるモノの活用法

福岡大学 経営学研究部

上松大翔

小股沙希

津田 歩

藤木康平

1. はじめに

経営面において重要なことは自社が持つ強みを活かし、最大限活用すること、所謂「モノの活用法」が大事である。

近年、日本はクールジャパンとして伝統や文化が外国人に注目されつつある。しかし、その伝統・文化などを効果的に売り出している企業は少ないと思う。そこで私たちは、旅行代理店をうまく活用することで効果的に売り出し、日本の良さをもっと世界に発信できるのではないかと考えた。

2. クールジャパンの背景と目的

現在、日本では生産年齢人口が減少傾向にあり、国内での成長力は低下する見通しとなっている。また国内の新たな事業や産業の育つスピードが今後遅くなる可能性も懸念されている。

このような内需低迷を引き起こさないための1つの案として、グローバル需要の取り込みが必要とされている。欧米やアジアでは、日本の文化、伝統など人気の高い商品やサービスが存在し、これらを「クールジャパン」と称して活用することで、内需を掘り起こすとともに外需を取り込み、新たな収入源や雇用を確保し、地域経済の活性化に活用することが目的である。

3. クールジャパンの抱える課題

・政府が文化のジャンルを限定している

→ポップカルチャー、映画、ファッション、食などのジャンルに限定

・甘えをもたらす国費による海外展開

→一歩間違えたら税金の無駄遣いになりかねない

4. 問題提起

現在、クールジャパンを戦略として推し進めている政府が文化を限定していることで、日本文化の強みともいえる、伝統芸能や歴史的建造物といった古典文化から最先端のポッ

ブカルチャーなどのあらゆる種類の文化が存在する、所謂“びっくり箱”状態を活かしきっていないのではないか。また、この強みを活かすためにはどのようなアプローチをすればいいのか。

5. 解決策

◦旅行代理店の活用

日本を訪れる外国人は、年々増加の傾向にある。そういったインバウンドを効果的にするために旅行代理店を活用していく。具体的には、日本の昔からある伝統、文化を体感や体験できる商品をつくることである。従来の旅行代理店の商品（ツアーなど）は目で見ても楽しむものが多い。そこで、ただ見るだけでなく体験をすることで満足度の向上を図る。例えば、ろくろ体験や和紙作りなどが挙げられる。また、アプリ等を作成し、広告の幅を広げることでより多くの人たちに認知してもらい、日本の良さを世界に発信していく。

6. 考察

日本の伝統や文化（クールジャパン）を、旅行代理店を活用し効果的に売り出すことで、旅行代理店が持つ最大の強み、つまり商品をプロデュースする力を活かせると考える。また、インバウンドを得られるだけでなく、国内にもアプローチをかけることにより、日本の伝統、文化の良さを日本人にも改めて再認識することができ地域の活性化にも繋がると考える。そのために、興味がそそられるような内容の濃いプランを提案することが大事である。この体験をしてよかったと思えるような提案をすることで顧客の満足感を高め、リピーターや口コミといった新規の顧客も獲得できるのではないだろうか。

7. 参考文献

クールジャパンの問題点

<http://trendy.nikkeibp.co.jp/article/column/20130604/1049781/?rt=ocnt>

クールジャパンの背景と目的

http://www.j-smeca.jp/attach/article/article_2014_02_03-06.pdf

クールジャパン機構

<https://www.cj-fund.co.jp/>

モノの活用法

～紙国^{しこく}が世界を変える～

松山大学経営学研究部

越智・森實・大森・株田・山本

1. はじめに

紙は、紀元前 2 世紀頃、中国で発明されたと考えられ日本には 610 年（推古 18 年）高句麗の僧、曇徴が墨とともに日本に製紙法を伝えたと言われる。

四国（愛媛県、高知県、徳島県、香川県）には、1000 年を超える紙産業の歴史があり、手すき和紙、抄紙、各種産業用機能紙、紙加工など多種多様な紙関連企業が立地する日本一の紙生産地（出荷額：全国シェア 12%、機能紙売上額：全国シェア 18%）を形成している。四国は紙の国、紙国とも呼ばれる。製紙業界の市場規模は約 5 兆円規模であり他の産業と比べるとかなり大きい規模である。しかし、製紙業界は成熟期に突入し衰退期も遠くはない将来である。そこで、紙の新素材 CNF（セルロースナノファイバー）に焦点をあて新たな市場への開拓へ紙国が世界を変える提案をする。

2. 製紙業界の現状課題

・製紙業界の現状課題 1：原料高

製紙業界は現在、輸入原料や原料高により、圧迫されています。その為、製品である紙そのものも、値上げを検討せざるを得ない状況である。値上げをすることで、価格そのものの底上げは可能ですが、懸念されているのが、値上げによる消費の落ち込み。今後、印刷用紙などの出荷数を増やし、更に値上げをしていく為に、どのような展開をしていくのかが課題とされる。

・製紙業界の現状課題 2：海外進出

近年、新たな市場を開拓する為に、海外進出を進めている業界も多く見られる。そのような社会情勢の中、製紙業界の海外進出は、他の業界と比較して遅れていると言われる。既に、国内での市場が成熟している今、いかに海外進出を進めていくのかが、製紙業界の今後を大きく左右すると言われる。なお、海外の安価な紙の輸入により国産の紙の需要が低迷する。

・製紙業界の現状課題 3：ペーパーレス化

近年、インターネットの普及により、ビジネスでも日常生活でも、「ペーパーレス化」が進んでいます。例えば、電子書籍や電子書類の登場。また、エコなどの観点からも、ペーパーレス化に取り組む企業や団体が増えている。このような背景から、現在の規模の市場を維持することが、今後は難しくなる可能性も出てきている。上記の

海外進出など、いかにして新たな市場を開拓するかが、課題となっている。

・製紙業界の現状課題 4：成熟から停滞へ

製紙業界の市場としては成熟し、停滞期に突入している。このまま現状をキープし、更に成長していくには、従来の経営や展開をしているだけでは難しい。

3. CNF(セルロースナノファイバー)とは

CNF は木材から得られる木材繊維（パルプ）を 1 ミクロンの数百分の一以下のナノオーダーにまで高度にナノ化（微細化）した世界最先端のバイオマス素材である。セルロースナノファイバーは植物繊維由来であることから、生産・廃棄に関する環境負荷が小さく、軽量であることが特徴で、弾性率は高強度繊維で知られるアラミド繊維並に高く、温度変化に伴う伸縮はガラス並みに良好、酸素などのガスバリア性が高いなど、優れた特性を発現する。国土の 7 割が森林に覆われた日本の強みになるであろう。

特長

1. 軽くて強い
2. 超極細の繊維（繊維幅約 3nm）
3. 比表面積が大きい
4. 熱による寸法変化が小さい
5. ガスバリア性が高い
6. 水中で特徴的な粘性を示す
7. 環境にやさしいバイオマス素材

4. 金属の代替え、多種に応用可能

CNF は鉄の 5 倍の固さ、鉄より軽く、空気を通さないなど優れた面が多いため様々なものに活用が加わっている。その中でも自動車・飛行機・タブレット端末・保存袋などが注目される。

日本の主力産業である自動車分野と低迷が続く家電業界に新たな風が吹くと期待される。

5. CNF(セルロースナノファイバー)の課題

- ・特性を知る企業が少ない
- ・製造コストがまだ高い
- ・高度な技術が必要 など

6. 紙国の生産体制確立へ

大王製紙(愛媛)は 2016 年 5 月 9 日、CNF の試験生産設備を愛媛県四国中央市の三島工場内に設け、4 月に稼働を始めたと発表した。試験設備の生産能力は年間 100 トン。新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が投資額を含め 3 億円超の費用を助成。

今後は、化粧品やゴムの補強材、塗料など、幅広い分野向けにサンプル供給を行う方針。また、6 月には

製紙各社のセルロースナノファイバー生産の取り組み

	取り組み	稼働時期	年産能力
王子ホールディングス	富岡工場(徳島県)に実証プラントを導入	2016年10月	40トン
日本製紙	石巻工場(宮城県)に16億円かけ、量産プラントを建設	2017年4月	500トン
大王製紙	三島工場(愛媛県)に試験プラントを導入	2016年4月	100トン
中越パルプ工業	川内工場(鹿児島県)に12億円をかけ、量産プラントを建設	2017年4月	100トン

薬品で原料のパルプを前処理する工程を加え、電気代を10分の1まで減らせる製造プロセスの実証にも乗り出す予定で、成功すれば製造コストは普及の目安とされる1キロ1000円以下になるとされる。その後は2020年にも商業プラントを建設することを視野に入れている。

7. 提案

1000年の歴史のある四国の製紙業界、その歴史の中で誕生したCNF(セルロースナノファイバー)で世界を変える提案をする。

愛媛：今治造船株式会社（新造船の建造隻数 J1）関連会社

徳島：大塚製薬株式会社（輸液製品 J1）関連会社

香川：吉野川電線株式会社（ロボットの高可動部用ケーブル W1）関連会社

高知：ニッポン高度紙工業株式会社（電解コンデンサ用セパレータ W1）

8. まとめ

紙国の紙が世界を変える。

9. 参考

- ・ 日本製紙連合会
<https://www.jpap.gr.jp/states/>
- ・ 大王製紙株式会社
<http://www.daio-paper.co.jp/>
- ・ 紙の総合マッチングサイト紙国
<http://www.shikoku-kami.com/>
- ・ NHK 四国羅針盤
<http://www4.nhk.or.jp/P3734/>
- ・ 日本製紙グループ
<http://www.nipponpapergroup.com/>
- ・ 京都大学生存圏研究所生物機能材料分野
<http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/labm/cnf>
- ・ 愛媛大学紙産業イノベーションセンター
<http://piice.ccr.ehime-u.ac.jp/>
- ・ トレンドピックアップ
<http://santa001.com/>

最新技術と従来技術の革新の活用

甲南大学 学生経営学研究会

松尾泉

山本竜大

1. はじめに

我が国の持つ固有の技術は多々存在するが、時代に合った技術を提案する必要がある。私たちはフリーズドライに目を付けた。また販売方法にも目をつける必要があると考え、現在、日本で最新の進化を遂げている自動販売機に目を付けた。これらを組み合わせることで、現代の日本社会に存在する様々な問題、また、間近に迫っている東京オリンピックの問題解決にもつながるのではないかと考えている。

2. 現代日本社会の分析

現代の日本では、個食化が進み、また偏食も問題視されている。冷凍食品やカップ麺などのバリエーションが増え、インスタント食品だけで満足できる食生活を送ることができるといっても過言ではないだろう。しかし、そのために食生活は偏りがちになり、生活習慣病が増加する要因の一つとなっている。また、東京オリンピックには大幅なインバウンド消費を見込むことができるが、同時に人材の不足が予想されている。

3. 提案

日本国内で「フリーズドライ食品×最新の自動販売機」を適所に設置することで、効率的に売り上げをあげると同時に、知名度の向上を目指す。また、海外に対してもアプローチをかけ、現在のカップ麺市場の代替となることを目指す。

4. 実現性と課題

実現性：対話式自動販売機が消費者を見分け商品提案をする技術、東京オリンピックに向けてこの自動販売機を増設しようという流れがあるので実現性

に関しては問題ないと考える。

課題：人々のフリーズドライ食品に対する受容性が不明確

コンビニエンスストア等との棲み分けが難しい

海外に提案する場合、自動販売機の衛生面が問題となる

5. 戦略提案

- ・ 上記の課題を解決するための経営戦略
- ・ 効率的に売り上げがあがる国の予想

6. まとめ

※用語解説※

フリーズドライ...フリーズドライとは、水分を含んだ食品や食品原料をマイナス 30℃程度で急速に凍結し、さらに減圧して真空状態で水分を昇華させて乾燥させることである。フリーズドライ食品は民間では保存食として活用されている。水分が除去されている分軽量なので携帯食としても有用であり、軍隊において重くかさばる缶詰に代わる携帯食として発達した。

個食化...共働き世帯で個食化が進展 家族が別々に食事をする「個食化」が進展している。三菱総合研究所の「生活者 3 万人調査（生活者市場予測システム：mif）」の 2013 年調査結果によると、共働き世帯の主婦のうち、「家族そろって食事をする」に「あてはまる」と回答する「家族そろって派」は約 35% を占める。

インバウンド消費...インバウンド消費（インバウンドしょうひ）は、訪日外国人観光客による日本国内での消費活動を指す観光用語。訪日外国人客を指す観光用語「インバウンド」（inbound）と「消費」を組み合わせた造語である

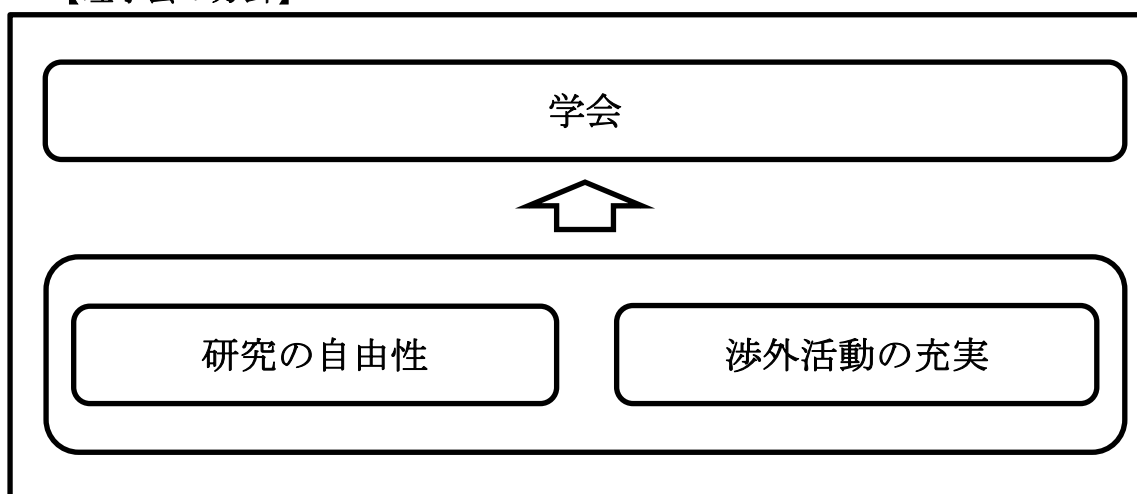
平成 28 年度 日本学生経営学会の方針

松山大学理事 川田 広樹

【役職】

理事長	川田 広樹(松山大学理事)
副理事長	村上 加奈(松山大学理事)
会計	渡辺 慎太郎(甲南大学理事)
会計監査	小野 大樹(福岡大学理事)
書記	藤崎 睦(福岡大学理事)
広報	西村 允政(松山大学理事)
渉外	木下 愛海(福岡大学理事) 柿崎 良輔(松山大学理事)
研究	岩本 凌(福岡大学理事) 山本 竜大(甲南大学理事)

【理事会の方針】



本年は、以上に掲げた「研究の自由性」「渉外活動の充実」の2つを理事会の方針とした。それぞれの内容については下に記してある。私たちが引き継ぎを迎えるまで、精力的に取り組んでいく。

【研究の自由性】

新しい視野からの研究

【渉外活動の充実】

各大学にアプローチをかける

会計報告

甲南大学理事 渡辺 慎太郎

1. 日本学生経営学会の連盟費

今年度の学生経営学会の連盟費は加盟校である松山大学、甲南大学、福岡大学は 40,000 円です。

2. 本年度の予算

収入の部

前年度繰越金	247,421 円
連盟費	120,000 円
<u>合計</u>	<u>367,421 円</u>

支出の部

理事会費	146,021 円
大会運営費	12,000 円
見舞金	10,000 円
次年度繰越金	209,670 円
<u>合計</u>	<u>367,241 円</u>

※理事会費は春合宿の宿泊費、交通費からなっています。

3. 本年度の収支（中間報告）

収入の部

受取利子	21 円
<u>合計</u>	<u>21 円</u>

支出の部

交通費	111,540 円
宿泊費	24,000 円
手数料	216 円
見舞金	10,000 円
雑費	265 円
<u>合計</u>	<u>146,021 円</u>

※交通費・宿泊費・手数料は春合宿からなっています。

※見舞金は福岡大学に送りました。

4. 口座の金額について

現預金額の合計は 101,421 円です

会計監査報告

福岡大学理事 小野 大樹

1. 会計監査の役割

会計監査という役職は、会計が正しく行われているかを監査する役職です。本年度においては甲南大学の渡辺が会計の役職に就いているため、福岡大学の小野が会計の監査、結果報告をさせていただきます。

なお、確認方法としては理事会の会計ノートに貼られている領収書と会計報告を照らし合わせます。

2. 会計監査内容

会計監査として収支を以下の通り確認いたしました。

－収入の部－

受取利子 21 円

合計 21 円

－支出の部－

第一回理事会費

交通費 11,154 円

宿泊費 24,000 円

手数料 216 円

見舞金 10,000 円

雑費 265 円

合計 146,021 円

前年度繰越金である 247,421 円に上記の収支を合わせた現預金が 141,421 円であることを確認し、会計報告と相違ないことを確認しました。

書記広報報告

福岡大学理事 藤崎 睦
松山大学理事 西村 允政

1.前期の活動報告

書記

- ・議事録の作成(スカイプ会議)
- ・資料の共有・管理(One Drive)

広報

- ・SNS の管理・更新
- ・ホームページの管理・更新
- ・冬季大会論文のアップロード

2.学会 SNS のお知らせ

- ・ホームページ : <http://gakusei-ka.jimdo.com/>
2013 年冬季大会から 2015 年冬季大会までの学会論文を掲載
- ・Facebook : <https://www.facebook.com/NihonGakuseiKeieiGakkai>
いいね! 98 件(2016 年度 8 月現在)
- ・Twitter : @gakusei_ka
フォロワー数 73 件(2016 年度 8 月現在)



3.今後の目標

SNS の管理について、今年から活動を増やす予定でしたが、去年と比較して、あまり活動頻度が変わっていませんでした。後期はこの点に関して改善をしていきたいです。今年には書記と広報が一人で役割を担うことになり、1つの役職に集中して務めることが出来たので、後期もこの調子で頑張っていきたいです。

渉外報告

福岡大学理事 木下 愛海

松山大学理事 柿崎 良輔

1. 前期活動報告

今年度前半の渉外活動は、主に九州・四国地区の大学を中心に、大学ホームページや SNS を使った調査(Twitter 等)を行いました。経営学会について研究活動を行っている団体があった際に、こちらから連絡をし、渉外活動を行いました。

<実施した大学>

- ・長崎県立大学
- ・久留米大学
- ・神戸大学
- ・近畿大学
- ・香川大学

2. 今後の目標

今年度後期の渉外活動は、冬季大会に向け、引き続き九州・四国地区の渉外活動を行いつつ、関西・中四国地方へと渉外活動も広げていきます。

また、日本学生経営学会の知名度向上のため、書記広報理事と連携を取り、公式ホームページや SNS(Twitter や Facebook)を活用した情報発信・加盟校募集を行っていきたいと思っています。

研究報告

甲南大学理事 山本 竜大

福岡大学理事 岩本 凌

1、仕事内容

- ・テーマ 山本
- ・採点基準 岩本

上記のように分担して作業を行いそして、お互いのものを添削しあい、意見を交換することで、より高い完成度のものを作り上げました。

- ① テーマの作成
- ② 評価シートを作成
- ③ 審査基準の作成
- ④ 注意事項の作成

2、テーマ及び採点基準の設定理由

テーマを決める際には、アニメ「おそまつくん」が「おそまつさん」に変わって再放送され、爆発的な人気を得ることができると考えたことがテーマの設定理由です。

採点基準は、テーマに合わせて作成したと同時に昨年度とは違う「笑顔で発表」という項目です。

理由は2つあり、1つは笑顔で発表すれば、発表者の緊張がほぐれ、より良い発表をすることが出来ると考えたことです。

もう1つは、笑顔を採点基準にすることにより、採点者が発表者一人ひとりの顔をよく見るようになり、より研究内容の採点を精密に出来ると考えたからです。

以上で活動報告を終わります。